

# 動物感染症学 - 1

学科		シラバス(概要)
コース		
履修条件	自律学習を修了し、理解度確認課題の提出をした者	伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状については自律学習で学び、理解度の確認をし、今後の学習が有効に進むように準備する。対面学習では感染症の発生機序、原因となる病原体についての代表てきなものについて学ぶ。動物看護師としてイヌやネコに感染する微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)について、性状と構造、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにするための基礎知識を習得する。
ユニット	高位平準動物看護概論	
科目名	感染症学	
単位		
履修時間	30時間中の3時間	
回数	10回中の1回	
授業形態	対面授業	評価方法
作成者		
教科書	動物看護コアテキスト 3 動物の疾病と予防及び回復	本講座3時間目に対面学習確認テストを実施する。また、10回目授業時に最終確認テスト(8教科分:五択問題)を受け、60%以上正答の受講者には修了証が発行される。
参考図書		

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	・微生物学 病原微生物について ・細菌	1.シラバスとの関係	動物に感染症を引き起こす微生物について、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようになる。	
		2.コマ主題	病原微生物とは何かが説明できるようになる。	
		3.コマ主題細目	①病原微生物とは ②細菌による代表的な疾患	
		4.コマ主題細目深度	①微生物全てが感染症を引き起こす訳ではなく、そのごく一部が動植物やヒトに病害を引き起こす。この性質をもった微生物が病原微生物であることを理解する。②犬猫の代表的な細菌感染症の症状、対策法等について知る。	
		5.次コマとの関係	真菌、ウイルスが原因でおきる代表的な感染症について	
2	真菌、ウイルス	1.シラバスとの関係	犬猫の代表的な真菌、ウイルスによる感染症の症状、対策法について知る。	
		2.コマ主題	犬猫のウイルスが原因の代表的疾患、真菌による感染症について学ぶ。	
		3.コマ主題細目	皮膚糸状菌など真菌性疾患、犬と猫に特有のウイルス感染症について学ぶ	
		4.コマ主題細目深度		
		5.次コマとの関係	外部寄生虫および内部寄生虫	
3	外部寄生虫と内部寄生虫	1.シラバスとの関係	犬猫の代表的な外部寄生虫と内部寄生虫について知る	
		2.コマ主題	外部寄生虫の代表的なもの、内部寄生虫の代表的疾患について学ぶ	
		3.コマ主題細目		
		4.コマ主題細目深度		
		5.次コマとの関係	まとめと、対面授業理解度確認テストの実施	